



直線構成されたモダンな外観。全面ガラスカーテンウォールが、地域への存在感をアピールしています。



開業地域は学生が多く、部活を終えてスポーツリハビリを受診する患者様の為に、院長及びスタッフは夜遅くまで奮闘しておられます。



整形外科であるため、階段の上り下りが困難な患者様の為に、車椅子でもゆったりと乗れる11人乗りのエレベーターを設置しました。



階段やエレベーターで上ってくると、正面に受付とメインの待合室。院長の提案によって、患者様の座る椅子の座面の高さや、携帯電話が使える空間の提案など、細やかな配慮が施されています。



診察室 1



診察室 2



診察室 3



診察室は複数室設け、患者さん同志がぶつからずに受診でき、院長やスタッフは最短距離で移動できる動線を工夫しました。



複雑な角度からのポジショニングも楽に行える天井走行式X線撮影装置と骨密度測定器。患者様の緊張感と不安な気持ちを少しでも和らげる為、院長の希望と計らいによりネイチャークロスを取り寄せました。



周辺地域は市内でも小・中・高が密集する文教の中心地です。スポーツドクターである院長のリハビリ機器への選択に妥協はありません。



整形外科疾患、スポーツ障害、骨粗鬆症などに対する保存的治療を軸にリハビリテーション室を充実させました。「心も身体も癒されるクリニック」を目指して、日夜地域医療に貢献していただいています。